

田上 あゆみさん（岡山県倉敷市出身）
2016年度3次隊 青年海外協力隊
派遣国：東ティモール 職種：栄養士
2018年1月14日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

母子の保健活動に従事

東ティモールは、インドネシアの東に位置するティモール島のほぼ東半分を占める国で、国土の60%が山岳地帯である。私の任地であるマウベシは標高1400mの高地で、首都に比べると涼しく過ごしやすい。

言語はテトゥン語とポルトガル語、インドネシア語、英語、部族語が使われている。地方に行けば行くほど生活言語であるはずのテトゥン語よりも部族語(以下マンバイ)が実用的であるため、村に移動診療へ赴くときはなるべくマンバイをしゃべるようにしている。住民の気質は地域にもよるかもしれないが、穏やかで寛容であり、あいさつをよく交わす。

アジアで最も若い国である東ティモールは、インフラ、医療、保健、経済などが不十分で、人口110万のうち約40%の人々が1日1ドル以下で生活しているのが現状だ。



子どもの腕の太さを測る場面。発育状況を診断するのに役立つ

私の配属先はアイナロ県マウベシ郡のヘルスセンターで、栄養士として母子保健活動に従事している。栄養不良からくる発育不良児の栄養改善や、妊婦の貧血改善を目的とした健康教育が主な仕事だ。派遣前は乳幼児死亡率が日本の15倍という事実には驚いたが、コミュニティに属してみるとその状況がうかがえる。

インフラの未整備による水や電気の不足や、流通・情報の遮断、宗教や文化、住民の衛生や健康に関する知識の欠如など、挙げれば果てしない。住民の体調改善と、健康促進に貢献できるよう残りの任期も自分ができるところに努めたい。